

## 第5節 3日目：6月19日（土）：新津～新発田 雨



### ※新津駅

6月19日（土）、本日の最も難関な京ヶ瀬駅に向けて8時54分スタートする。雨で集中力（地図・スマホは観られず）をかいたまま、信越本線に行かないよう、地元の人々のサポートとこれまでの第六感を頼りに用心深く歩く。やっと国道460号線に出る。7時21分、44mある新津大橋（新津川）を、7時28分、156mある真木野大橋（能代川）を渡る。7時43分、東部運動広場前を通過。7時47分、新津変電所前を通過。8時4分よりおがうら橋（阿賀野川）を渡る。8時8分、橋の途中で新潟市から阿賀野市となる。この橋は万歩計で1,649歩あった。8時26分、JR下を潜る。雨の中、紆余曲折してやっと8時48分、京ヶ瀬駅に到着する。



### ※能代川、新津変電所



※阿賀野川を渡る



※阿賀野川に跨る鉄道、鉄道下潜



※京ヶ瀬駅

②9時17分、無記名の神社前で本日の安全を祈願する。沿線には北海道で見たような風除けの設備が道路に沿って随所で見られた。9時38分、102歩ある両新橋を渡る。JR

下通路を經由し、水原（すいばら）駅に10時2分到着する。この駅は駅員の姿があった。駅舎内には白鳥のすいばらとPRしていた。新津から新発田の区間でこの駅前が賑やかであった。

2021年6月19日（土）雨、今回の旅の二日目は、新津駅から新発田駅までの26.0kmに挑戦する。本日起点駅である新津駅は2017年6月4日（日）元信越本線踏破の際、立ち寄った駅舎である。一方、新発田駅は2017年6月5日（月）、白新線踏破の際の起点駅である。4年前は二日ともいい天気であったが、本日は生憎の雨で誠に残念。しかし、本日で新津、新潟、新発田の頭に新がつくトライアングル（信越本線+白新線+羽越本線）が完成する。



※新発田第一ホテルいざ出発！！、新発田駅、新津駅

各駅舎の立ち寄り時刻は次の通り。

新津（6:54）～京ヶ瀬（8:48）～水原（10:02）～神山（11:51）～月岡（13:01）～中浦（14:16）～新発田（15:58）

①見覚えのある新津駅には、新発田始発の列車で6時41分到着。4年前の懐かしい光景が蘇る。この駅は、羽越本線その他、信越本線と磐越西線が合流しているため、誤った方向に行かないよう神経を費やす。羽越本線との出会いは、新津駅であった。それが4年の歳月を得て、間もなく羽越本線踏破できそうで嬉しい限り。「塵も積もれば山となる」を強く感じた瞬間であった。この駅は新型車両を創る工場があるとのことで、将来磐越西線踏破の際、ゆっくり見学したいものだ。



### ※新津駅

本日の最も難関な京ヶ瀬駅に向けて8時54分スタートする。雨で集中力（地図・スマホは観られず）をかいたまま、信越本線に行かないよう、地元の人々のサポートとこれまでの第六感を頼りに用心深く歩く。やっと国道460号線に出る。7時21分、44mある新津大橋（新津川）を、7時28分、156mある真木野大橋（能代川）を渡る。7時43分、東部運動広場前を通過。7時47分、新津変電所前を通過。8時4分よりおがうら橋（阿賀野川）を渡る。8時8分、橋の途中で新潟市から阿賀野市となる。この橋は万歩計で1,649歩あった。8時26分、JR下を潜る。雨の中、紆余曲折してやっと8時48分、京ヶ瀬駅に到着する。



### ※能代川、新津変電所





※阿賀野川を渡る



※阿賀野川に跨る鉄道、鉄道下潜



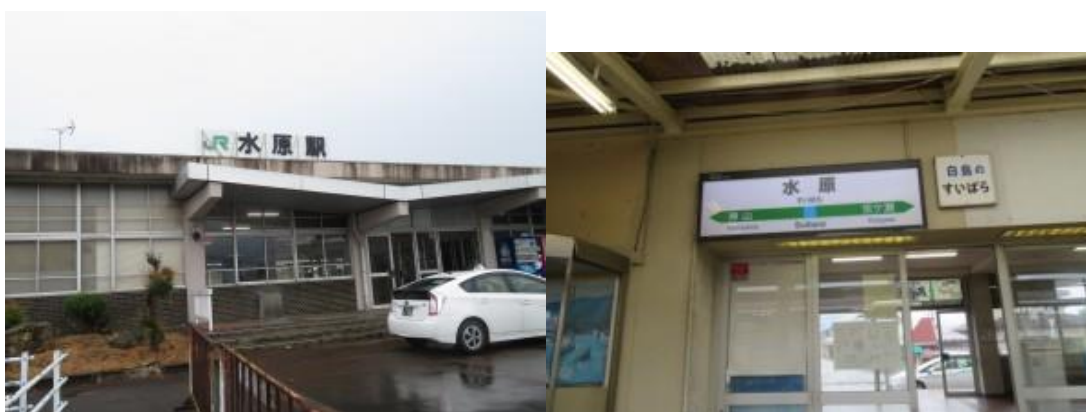
※京ヶ瀬駅

②9時17分、無記名の神社前で本日の安全を祈願する。沿線には北海道で見たような風除けの設備が道路に沿って随所で見られた。9時38分、102歩ある両新橋を渡る。JR

下通路を經由し、水原（すいばら）駅に10時2分到着する。この駅は駅員の姿があった。駅舎内には白鳥のすいばらとPRしていた。新津から新発田の区間でこの駅前が賑やかであった。



※本日の安全を祈願、両新橋



※水原駅

③10時17分、第一新発田街道踏切を横切り、鉄道の左側となる。10時23分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。自分が鉄道の右側・左側か重要であるが、頻りに鉄道を跨ぐ回数が多くなると方向性を見失い、駅舎を未踏破となる可能性が高まる。特に山が絡むとこの危険性は大きくなる。数年前の宗谷本線踏破の苦い体験を思い出す。11時14分、アクチュアリー友人と同じ苗字の西野太鼓本店工場前を通過。11時19分、粋なカフェジェルト（0250-25-7677）があったので、休息を兼ね立ち寄り。手作りのパンサンドはとても美味しかった。店内は洒落たギターもあり、50年前の学生時代が蘇る。この店に30分位滞在。帰り際、若夫婦にカッシー館をPRする機会を得る。マスターに店内

で記念写真を撮って頂く。今日もいい出会いができた。これが旅の楽しみの一つでもある。神山駅にはこの店から数分先にあった。11時51分到着。



※カフェジェルト





※神山駅

④12時16分、万歩計で79歩ある折居川（神山大橋）を渡る。12時29分、路面にアマガエルを発見。踏みつぶさないよう跨ぐ。12時36分、飯山踏切を横切り、鉄道の左側となる。12時47分、万歩計で140歩ある笹神橋を渡る。12時51分、阿賀野市から新発田市となる。月岡駅には13時1分到着。駅前には月岡温泉の看板があった。



※アマガエル、飯山踏切



※月岡駅への路、月岡駅





※月岡駅前

⑤13時12分、農道を歩く。そのうち、農道が途切れ、あぜ道を歩く。60年数年前の幼少の頃を思い出し懐かしくなる。13時51分、竹保踏切前を通過。この踏切を渡ろうとするが、運よく地元の人と会い、「この路を真っ直ぐ道なり歩いた先に中浦駅があります」と教えて頂く。いつの間にか雨は小降り、傘がなくてもいい状態になっていた。14時16分、中浦駅に到着。四方八方水田が広がっていた。



※中浦駅への路、竹保踏切パス



※中浦駅

⑥14時25分、新発田市豊浦庁舎前を通過。その先に乙次神社があった。本日のこれまでの安全のお礼を申し上げる。14時39分、豊浦小学校前を通過。15時14分、白新線を跨ぐ。15時21分、新発田南高校と新発田農業高校前を通過し、新発田市内に入る。

15時35分、市島酒造に立ち寄り、製造過程を見学させて頂く。試食酒を頂く。2005年7月23日（土）、わいわい会（高松一高同窓の歩き会）メンバーで立ち寄った岡谷駅界隈にある神渡酒造元の豊島屋を思い出す。お土産に飲み比べを購入する。市島酒造に10分位滞在。15時47分、諏訪神社に遠くからお参りする。新発田駅には15時58分到着。



※新発田市豊浦庁舎、新発田農業高校、新発田駅への案内



※市島酒造



※お土産：飲み比べ3点セット



※諏訪神社



※新発田駅

⑦新発田第一ホテルで休息し汗を流した後、ホテルから紹介を受けた鮭和食”ながしま”で本日の疲れを癒す。この店で本日から三顧の礼を尽くす。雨の中のウォーキングであったが、充実した一日であった。



※鮭和食”ながしま”





## 第6節 4日目：6月20日（日）：越後寒川～村上 晴れ

2021年6月20日（日）晴れ、旅の4日目は、羽越本線の越後寒川駅から村上駅までの営業キロ28.1kmに挑戦する。ホテルを5時頃出る。5時7分、新発田駅の七夕短冊に「まもなく日本海側沿線の踏破ができますように！！／カッシー館」と記載し、笹に括りつける。60数年前の幼少の頃を思い出す。



※短冊に願を記載！！

一作日の歩きの続きとなる。本日は昨日の水田風景と異なり、間島駅までは海岸線風景となる。本日も昨日と同様、始発で臨む。しかし、昨日よりは49分位早い、新発田発5時19分発の村上行の快速で臨む。村上で酒田行きが接続しており、越後寒川駅には5時52分到着。本日は日曜日のこともあり、乗客は疎らであった。途中、今川駅で特急電車との離合待ち合わせがある。





※越後寒川駅

なお、当初は新発田発6時47分の便を考えていたが、村上から新発田までの電車での移動があるので、急遽予定を早めた。結果大成功であった。旅先での不測の事態への対応。日没までのアップ。また、地方のダイヤは少ないこともある。

本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

越後寒川（6:40）～今川（8:21）～桑川（9:51）～越後早川（12:01）～間島（13:18）～村上（15:31）

①電車の中では曇り空であったが、越後寒川駅出発の際は晴れマークとなる。道筋は昨日の雨でところどころ水たまりがあった。滑らないよう用心して歩く。郵便局を越えた先の脇川踏切（6時50分）横切り、鉄道の右側となる。本日は村上駅到達まで16個のトンネルを経由しての歩きとなる。また、海岸線では日曜日であることもあり、釣り人の姿を随所で見かける。一昨日に引き続き、粟島を観ながらの歩きとなる。7時2分、黒い煙を出して藻塩を作っている店の前を通過。今川駅には、次の5つのトンネルを経由して8時21分到着。駅に面してお寺があった。



※脇川踏切、藻塩精製の場面



※今川駅への路

松院第一トンネル（100 歩、6 時 55 分より歩き）～蓬莱第一トンネル（62 歩、7 時 33 分より）～蓬莱第二トンネル（36 歩、7 時 36 分より）～トンネル名不明（測定ミス、7 時 59 分より）～トンネル名不明（113 歩、8 時 3 分より）



※今川駅

②桑川駅への道筋は9つのトンネルを経由しての歩きとなる。この区間で4色ボールペンに異変が起こり、旅記録メモに悪戦苦闘する。9時16分、新潟79km。村上21kmの道路標識前を通過。弘法トンネル（469 歩、8 時 32 分より）～神鷹沢第一トンネル（100 m、181 歩、8 時 50 分より）～神宮沢第二トンネル（59 歩、8 時 52 分より）～神宮沢第3トンネル（296 歩、8 時 56 分より）～トンネル名不明（199 歩、9 時 8 分より）～アカタビラ（214 歩、9 時 15 分？）～滝ノ尻トンネル（264 歩、9 時 18 分より）～二タコ間トンネル（203 歩、9 時 21 分より）～トンネル名不明（136 歩、9 時 29 分より）



※桑川駅への路、神鷹沢第一トンネル



※笹川流れ遊覧船のりば



※笹川の流れの概要



9つのトンネルを出た先に笹川流れの遊覧船乗り場がある。桑川駅には9時51分到着。桑川駅に面して道の駅”笹川の流れ”（夕日会館）があり、ここでお願いしてボールペンを寄贈頂く。これまでの道筋にはコンビニがなく困っていた。そして、運よくお土産菓子を購入する機会を得る。この会館に20分位滞在、宅急便の手続きを終える。一気に夕日会館で2つの案件事項が解決しホットする。感謝また感謝の瞬間であった。



※桑川駅



※桑川駅、夕日会館

③10時10分、お土産購入後、笹川流れの海岸線で暫く立ち止り、風光明媚な風景を堪能する。10時37分、本日15番目の鳥越トンネル（65m）手前に到達。そして、11時2分、本日最後となった16番目の馬下トンネル（159歩）手前に到達。11時22分、4両編成の酒田行きの快速”海里”と対面する。越後早川駅には12時1分到着。





※笹川流れ



※笹川流れ界限、栗島を背景に



※越後早川駅

④12時20分、吉浦郵便局前を通過。昼食をとりたいのだが、食事する箇所もなければ、コンビニもなし。ひたすら山道を歩く。12時35分、村上市立上海府小学校前を通過。

12時58分、再び海岸線に出る。13時8分、間島橋を通過。海岸線から少し上ったところに間島駅（13時15分）があった。



※間島駅への路、村上市立上海府小学校、間島橋



※日本海海岸線、間島駅



※間島駅

⑤ここからは山道を歩き、村上駅を目指す。14時20分頃、見晴らしがよいところに和食レストランがあったが、中途半端な昼食時間帯のためパスする。13時30分、国道345

号線に合流。13時55分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。14時37分、やっと下り坂に突入する。14時40分、熊出現の標識あり。



※村上駅への路



※和食レストランあり、吊り橋、熊出没の標識

橋の手前で自転車に乗った年配の方と対面する。「今何時ですかと聞かれる。どこまで歩くのですか。また、どこから歩いてきたのですか」と聞かれる。「14時45分で、早朝越後寒川駅から歩き、本日は村上駅まで歩きます。2000年より全国鉄道つたい歩きをしています」と答える。「そんな楽しみ方もあるのですね」と感心した様子であった。念のため、「村上駅はこの路真っ直ぐ歩けば行けますか」と問いかける。「この路を真っ直ぐ進めば行けます」と言って別れる。しかし、親切にも橋を渡った先で待っていた。説明不足であったからだろう。「この路を歩いた先の第1信号を左折して下さい。」と言って別れる。感謝また感謝。



※村上駅への路、橋の手前で直進か左折か迷う（正解は直進）



信号を左折し、村上市街地に入る。15時4分、瀬波郵便局前を通過。15時21分、地下遊歩道を通り、鉄道の左側となる。地下遊歩道には素晴らしい壁画展があった。遊歩道を出た先で9歳の毛並みのよい雌馬（人間で30歳位）を手入れしている方と対面。村上駅をお伺いする。「向うに見える信号を右折した先にあります」と教えて頂く。15時21分、観音寺前で本日のお礼を。村上駅には15時31分到着。ここで、菓子パンを食べ、空腹を癒す。



※瀬波郵便局、地下遊歩道



※沢山の壁画を展示





※村上駅への路、観音寺（香川県にあり）



※村上駅近し、村上駅



※村上駅

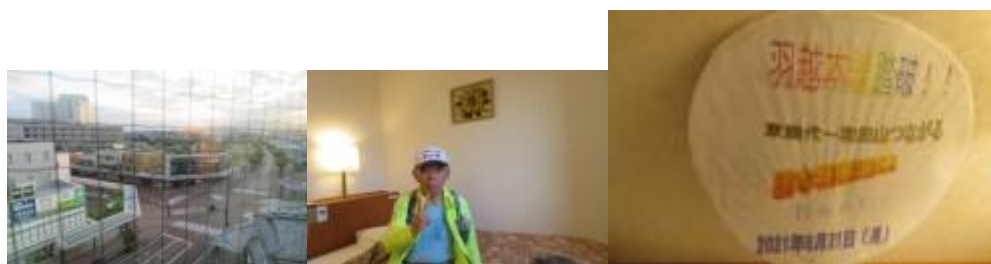
⑥村上発 16 時 6 分の新潟行きで新発田駅に向かう。新発田駅には 16 時 39 分。汗を流した後、17 時半頃、昨日行った鮭和食“ながしま”に参上し、本日の疲れを癒す。



※鮭和食“ながしま”で祝杯！！

## 第7節 5日目：6月21日（月）：村上～新発田 晴れ

2021年6月21日（月）晴れ、旅の5日目は、羽越本線の村上駅から新発田駅までの営業キロ33.4kmに挑戦する。本日の歩きが無事終了すれば、羽越本線の秋田から新津までの営業キロ271.7kmの踏破が達成する。同時に”日本横断歩き鉄の旅”と題して、カッシー館にPDFシリーズで投稿している第13編（羽越本線・白新線）が執筆できる。それ故、ワクワクドキドキする。リュックに羽越本線踏破の団扇を持参して臨む。



※7階の風景、いざ団扇を持参し出発！！

昨日同様、新発田発5時19分の快速で村上駅に向かう。本日の道筋は水田でフラットであったが、営業キロが30キロ超えで足に負荷を要した。本日の各駅舎到着時刻は次の通り。



※新発田駅、村上駅

村上（5:57）～岩船町（7:43）～平林（8:58）～坂町（10:08）～平木田（11:23）～中条（13:04）～金塚（14:30）～加治（15:53）～新発田（18:15）

①5時57分、岩船町駅に向けてスタートする。本日一番の難関区間は岩船町駅の道筋であった。途中、小高い山を通り抜ける必要があったからだ。6時33分、七湊農村公団前を通過。6時40分農道を歩く。6時43分、脇淵踏切を横切り鉄道の右側となる。6時56分、土手歩きとなり、橋のない川で途中行き止まりとなる。適宜引き返ししながら、くねくねした田圃道を歩き、一般道に繋がる96歩ある川を渡る。7時29分、新飯田バ



ス停前を通過。要所要所で、地元の応援を得て、道路下を潜り、岩船町駅には7時43分到着。駅前には開業百周年記念碑があった。



※小高い山越え、七湊農村公園、岩船町駅への路



※農道を歩く、川に沿って歩く、橋がなく渡れず



※一般道路に繋がる橋、新飯田バス停、幹線道路下潜る



※岩船町駅、百周年記念碑

②7時56分、村上市立神納小学校前を通過。8時、第一飯岡踏切を横切り鉄道の左側となる。国道7号線を歩く。8時7分、道の駅神林を通過。8時25分、新潟55km、新発

田 31 kmと記した標識前を通過。8時58分、平林駅には8時58分到着。新潟方面の電車が来る。



※第一飯岡踏切。羽越本線車両



※平林駅



※平林駅、荒川橋

③9時7分、第1村上街道踏切を横切り、鉄道の左側となる。9時25分、841歩ある川橋（荒川）を渡る。橋の歩道には4つの図柄があった。9時55分、米坂線の国道七号線踏切を横切る。9時58分、SL機関車が展示されている体育館前を通過。隣接して村上市立荒川中学校があった。”鉄道の町”の看板がある坂町駅には10時8分到着。駅前には、蒸気機関車展示場の案内板があった。この駅は、米沢駅と坂町駅を結ぶ米坂線の始発駅でもあり、駅前にはいづみや旅館があった。このいづみやの屋号を聞くと、落語の帰りなどに立ち寄った東京駅八重洲口にある居酒屋”いづみや”を思い出す。残念ながらこの店はコロナの影響で廃業となったが。誠に寂しい限りだ。



※荒川橋、坂線の国道七号線踏切



※蒸気機関車展示の体育館、坂町駅





※坂町駅

④ここから平木田駅への道筋も難解であるが、偶然にもこの駅への道路標識を見つけ、スムーズに歩くことができる。11時5分、いつも愛用のおかきを製造している三幸製菓 菓荒川工場前を通過。人生って不思議なものですね。強い因縁を感じた。平木田駅には11時23分到着。



※私が好んで間食としているおかきの工場”三幸製菓”



※三幸製菓のマスコット、平木田駅への路



※平木田駅

⑤11時30分、間宮塗装前を通過。間宮海峡で歴史上名を残した間宮林蔵を思い出す。11時43分、農道を歩く。12時11分、万歩計で395歩ある鳥坂大橋を渡る。12時47分、線路に近づく。しかし、ここから中条駅は遠かった。何人もの人に聞きながら、中条駅にやっと13時4分到達できる。駅前には板額御前之像があった。観光交流室に入り、お茶と菓子パンで小休止する。



※間宮塗装、中条駅への路、鳥坂大橋



※中条駅への路



中条駅



※中条駅

⑥13時47分、109歩ある舟戸川を渡る。14時4分、胎内市から新発田市となる。14時14分、新潟37km、新発田12kmと記した道路標識前を通過。14時10分、我が故郷香川県でよく見かけるため池前を通過。その先に今は営業を停止している加治川（道の駅）があった。金塚駅には14時30分到着。国道7号線に面して駅舎があった。



※ため池、金塚駅





※金塚駅

⑦ここから営業キロ 5 km先の加治駅は遠かった。淡々と歩くが、中々到着できず。国道からくねくねとした路地を入った先に加治駅はあった。ネットを点検しながら行き過ぎないように用心して歩く。15時53分やっと加治駅に到着する。この駅から少し行った先にフコク生命のたばこ看板に遭遇する。フコク生命にお世話になった50年前を思い出し懐かしくなる。



※加治駅への路



※加治駅



※かつてのたばこ看板、七條中学校

⑧16時8分、7号線に合流する。16時27分、万歩計で339歩ある加治川大橋（加治川）を渡る。16時45分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。ここから、急遽新発田駅に到達する前に、新発田城散策を思いつく。何人もの地元の人のお世話になりやっと17時25分到着できる。しかし、公開時間帯の17時を過ぎていたため、入城できず。それ故、城の周りを20分位散策し、本日の終点駅の新発田駅を目指すことにする。途中、道路標識の五泉市や阿賀町に惑わされる。ここでも何人もの人の協力により、一昨日通過した市島酒造前そして諏訪神社前に18時9分到着できる。そして、終点の新発田駅には18時15分到着。駅前で予め用意した団扇を持った姿の記念写真を通行人の方に撮って頂く。



※加治川、鉄道を跨ぐ、新発田城



※新発田城



※新発田商店街、諏訪神社



※羽越本線を踏破した新発田駅



⑨ホテルで汗を流した後、一昨日、昨日と通った「鮨和食”ながしま”」に出向き、羽越本線の踏破と東能代～和田山がつながったことを記念に祝杯をあげる。また、女将さんに団扇をもった姿で記念写真（19時18分）を撮って頂く。感謝感激で一杯となった。



※鮨和食”ながしま”